

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	土岐市立鶴里小学校		
実 施 期 間	平成26年11月5日（水）		
実 施 概 要	<p>名 称：「収穫を味わう会」                  参 観 者：保護者・祖父母・鶴寿会（老人会）会員・学校評議員・鶴里生産農林組合員、地域にお住まいの方々 72名                  活動内容：①1～6年が各学年別に学習発表を行った。                  ②5年生が学校田で収穫したお米で作ったおにぎりを参加者全員で味わい、これまでの活動内容等を交流した。                  ③米作り指導者、学校田管理者の方へのお礼                  ④閉校記念として、参加者全員で校歌を歌った。</p>		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	56人	計 64人
	地 域 関 係 者	8人	
実 施 状 況	<p>5年生は総合的な学習の時間に地域講師の可知井さんから米作りの指導を受け、米作りを行っている。その内容は、もみ蒔きや田植え、田の草取り稲刈り、脱穀である。「収穫を味わう会」は、その米を用いて保護者とともにおにぎりを作り、保護者、祖父母、地域の老人会の方などを招き、皆で米の収穫を祝うとともに子どもたちの活動の成果を見ていただくという会である。詳細は以下の通りである。</p> <p>会は児童会が主体となって運営し、全学年の「学習発表」と「収穫を味わう」の二本立てで行った。はじめに、1年から6年生まで、学年ごとにこれまでの学習の成果を発表した。合唱や合奏、楽器演奏、総合的な学習の時間の取組（米作り）発表を行った。次に、地区ごとに輪になり、保護者・祖父母・地域の老人会「鶴寿会」の方々と子どもたちが一緒におにぎりを食べながら、学習発表の感想や日ごろの様子について歓談した。会の終わりに、米作りの指導者の可知井さん、学校田の管理人の稲垣さんに、5年生の代表がお礼の言葉と花束を渡した。また5年生がFBC花壇の取り組みで育てているパンジーを2鉢ずつ参加してくださった方全員に配布した。64名の方に参加いただき、ふれあう活動を通して、多くの高齢者の方とも世代を超えた交流を行うことができた。また閉校記念として、子どもたちと参加者が、一緒に校歌を合唱した。地域の方とまた一つ学校の思い出をつくることができた。「収穫を味わう会」は、地域のお年寄り等とのふれあいや交流を深め、お互いに知り合える関係を作るまとめの活動である。</p>		
成 果 及 び 課 題	<p>5年女子が「おにぎりをあまりにぎったことがないので、たくさんのおにぎりをにぎるのは大変でした。手が小さくて、おにぎりがうまくにぎれなくて、なかなか三角形に出来ませんでした。ご飯が熱くてやけどしそうでした。そう考えると、いつもお弁当のときにおにぎりを作っているお母さんはすごいなと思いました。半年間ずっと作業をして出来たお米なので、おにぎりを作るのもとても楽しかったです。」という感想を書いている。この子のように、「収穫を味わう会」を行うことで、地域の方と分かち合う楽しさを味わうとともに家族への感謝の気持ちも育むことができた。地域の方からは、「発表する姿から、子どもたちの成長が分かる」との声をいただいた。</p>		